

**朝鮮問題** ※国王は<sup>1</sup>高宗だが、<sup>2</sup>**閔妃** (王妃: 明成皇后)と<sup>3</sup>**大院君** (王の父)が実権を争う  
 朝鮮は建国以来<sup>4</sup>清の冊封国(国王は形式的には清皇帝の臣下)であったが、  
 日朝修好条規(1876)以降、各国と条約を結んで開国 →物価高騰など経済悪化(特に米価)  
 →**保守派(親清派)**と**開化派(親日派)**の対立  
 ……大院君(前政権) ……<sup>5</sup>**閔妃政権** 日本軍人が訓練する新軍を建設

<sup>6</sup>1882. <sup>7</sup>**壬午軍乱 (事変)** 漢城(ソウル) ←……………  
 旧軍隊の反乱→大院君ら保守派が政権奪取→清軍の介入→閔妃が復権→閔妃は親清派へ  
 ……日本公使館も襲撃→1882. <sup>8</sup>**济物浦条約**(日本への賠償金、公使館守備兵の駐屯)

新しい対立: <sup>9</sup>**事大党** ……閔妃ら 親清派で保守派  
<sup>10</sup>**独立党** ……<sup>11</sup>**金玉均** ……<sup>12</sup>**朴泳孝**ら 親日派で急進開化派

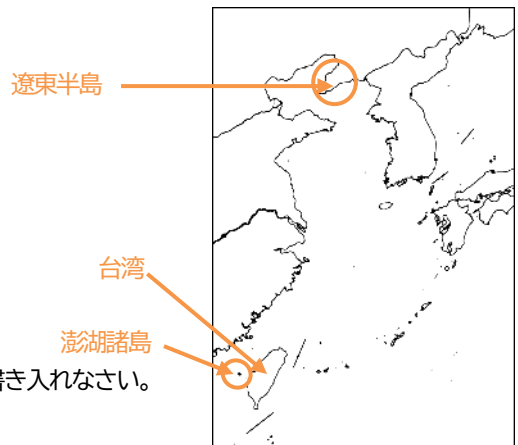
<sup>13</sup>1884. <sup>14</sup>**甲申 事変** 漢城(ソウル) ……清仏戦争[1884~85]による清のスキを狙う  
 独立党が日本守備兵の援助でクーデター →清軍により事大党が逆襲し政権に復帰  
 →金玉均ら、日本公使(公使館を焼いて逃亡)と共に日本へ亡命 (のち上海で殺される)  
 →<sup>15</sup>**天津条約** [1885] 全権: <sup>17</sup>伊藤博文(日)、<sup>18</sup>李鴻章(清)

日清間の紳士協定 (両軍の撤兵、軍事教官派遣の中止、今後の出兵は事前に通告)  
 ※<sup>19</sup>**大阪事件**[1885]…旧自由党员 <sup>20</sup>大井憲太郎、<sup>21</sup>景山(福田)英子ら逮捕(→近代12)  
 〔朝鮮で親日派政権を樹立し、清との対立をおおって日本人のナショナリズムを刺激し、  
 国内の民権運動を再起しようと計画(爆弾製造など) →実行前に大阪で逮捕〕

☆ <sup>24</sup>福沢諭吉らはアジア改造論から<sup>22</sup>**脱亜論** (「<sup>23</sup>脱亜入欧」1885)へ) **資料154**  
 ……アジアとの連帯を放棄し欧米列強側に立つべきと主張

☆朝鮮の対日感情悪化…日本の対朝鮮経済進出

<例><sup>25</sup>**防穀令 事件**[1889~93]…朝鮮が凶作を理由に穀類輸出を禁止した(防穀令)ことに対して  
 日本政府は、日本の貿易商が打撃を受けたとして賠償などを要求。



**作業** 図表ページを見て、右図に遼東半島・台湾・澎湖諸島を書き入れなさい。

## 日清戦争と三国干渉

26.1894. 27. **甲午農民** 戦争 (28. **東学党** の乱) ※29. 東学は新興の民衆宗教 (⇔ **西学**(キリスト教))

指導者<sup>30</sup> **全瑛準** 反封建制・反侵略(「<sup>31</sup>**斥倭洋**」) 朝鮮政府に改革を要求

→朝鮮の要請で清が出兵 →清は天津条約に基づいて日本へ通告 →日本も出兵 →農民軍は和平し解散

→日本軍は撤兵を拒否して朝鮮の内政改革を要求して王宮を軍事占拠、大院君を擁立(7/23)

→清軍へ攻撃開始(<sup>32</sup>**豊島沖海戦** 7/25)→宣戦布告(8/1)→平壤の陸戦(9/15)→<sup>33</sup>**黄海海戦**(9/17)

→遼東半島の旅順・大連を占領(11月)→山東半島も占領(1895年2月)など日本軍優位

☆戦費は <sup>34</sup>約2億円(当時の財政規模の3倍)

☆議会は政府批判を中止(<sup>35</sup>**大本営**は広島) **高揚するナショナリズム**

36.1895. <sup>37</sup>**下関条約** (<sup>38</sup>**日清講和条約**) **資料156**

全権 [日本] <sup>39</sup>**伊藤博文**首相・<sup>40</sup>**陸奥宗光**外相 [清] <sup>41</sup>**李鴻章**

(a) <sup>42</sup>**清は朝鮮の独立を承認** (「清国ハ朝鮮国ノ完全無欠ナル独立自主ノ国タルコトヲ確認ス。」)

(b) <sup>43</sup>**遼東半島** ・ <sup>44</sup>**台湾** ・ <sup>45</sup>**澎湖諸島** を日本へ割譲

(c) 賠償金<sup>46</sup> **2億両**(約**3.1億円**)→<sup>47</sup>**金本位制**の確立などへ活用

(d) <sup>48</sup>**沙市**・**重慶**・**蘇州**・**杭州**の開港 →<sup>49</sup>**日清通商航海条約**(不平等条約)

☆<sup>50</sup>**ロシア** を刺激→<sup>51</sup>**フランス**・**ドイツ**と共に<sup>52</sup>**遼東半島**の返還を勧告…<sup>53</sup>**三国干渉** (<sup>54</sup>1895)

→承諾…「<sup>55</sup>**臥薪嘗胆**」の機運 ※3000万両の還付代償金

☆台湾統治問題

<sup>56</sup>**台湾民主国**の樹立→反対する清国民ら→日本軍が制圧→<sup>57</sup>**台湾総督府** の設置

その後も、先住民の<sup>59</sup>**高砂**(高山)族らの抵抗 ……初代総督<sup>58</sup>**樺山資紀**

1897. 軍政から民政へ…総督 児玉源太郎、民政局長<sup>60</sup>**後藤新平** 米・砂糖・樟脳などの産業育成

☆戦後の朝鮮…親日派の大院君の勢力拡大 →閔妃ら、ロシアの協力でクーデター(1895)

1895. <sup>61</sup>**閔妃殺害事件**(1895)…<sup>62</sup>**三浦梧楼**日本公使ら →以後、**高宗はロシアへ接近**

…▶1897. <sup>63</sup>**大韓帝国** と改称 高宗は皇帝に

【時代順問題に挑戦】<2001年B本試験より>

- I ③伊藤博文と李鴻章との間で天津条約が結ばれ、日清両軍の朝鮮からの撤兵などが定められた。
- II ①日本は江華島事件を機に朝鮮との間で日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。
- III ②朝鮮で国王の父大院君が閔氏一族から政権を奪おうとし反乱を起こしたが、清の出兵によって失敗に終わった。

**朝鮮問題** ※国王は<sup>1</sup>高宗だが、<sup>2</sup>\_\_\_\_\_ (王妃：明成皇后)と<sup>3</sup>\_\_\_\_\_ (王の父)が実権を争う  
 朝鮮は建国以来<sup>4</sup>清の冊封国(国王は形式的には清皇帝の臣下)であったが、  
 日朝修好条規(1876)以降、各国と条約を結んで開国 →物価高騰など経済悪化(特に米価)  
 →保守派(親清派)と開化派(親日派)の対立  
 ……大院君(前政権) ……<sup>5</sup>閔妃政権 日本軍人が訓練する新軍を建設

<sup>6</sup>1882. <sup>7</sup>\_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) 漢城(ソウル) ←……………  
 旧軍隊の反乱→大院君ら保守派が政権奪取→清軍の介入→閔妃が復権→閔妃は親清派へ  
 ……日本公使館も襲撃→1882. <sup>8</sup>濟物浦条約(日本への賠償金、公使館守備兵の駐屯)

新しい対立：<sup>9</sup>\_\_\_\_\_ ……閔妃ら 親清派で保守派  
<sup>10</sup>\_\_\_\_\_ ……<sup>11</sup>\_\_\_\_\_ ……<sup>12</sup>朴泳孝ら 親日派で急進開化派

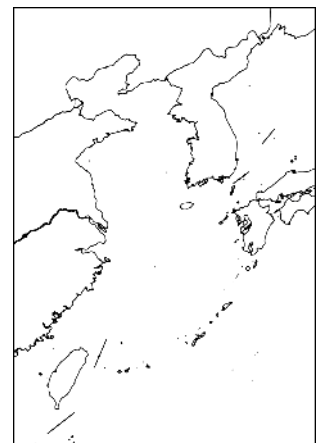
<sup>13</sup>1884. <sup>14</sup>\_\_\_\_\_ 漢城(ソウル) ……清仏戦争[1884~85]による清のスキを狙う  
 独立党が日本守備兵の援助でクーデター →清軍により事大党が逆襲し政権に復帰  
 →金玉均ら、日本公使(公使館を焼いて逃亡)と共に日本へ亡命 (のち上海で殺される)  
 →<sup>15</sup>\_\_\_\_\_ [16]1885] 全権：<sup>17</sup>伊藤博文(日)、<sup>18</sup>李鴻章(清)

日清間の紳士協定 (両軍の撤兵、軍事教官派遣の中止、今後の出兵は事前に通告)  
 ※<sup>19</sup>大阪事件[1885]…旧自由党员 <sup>20</sup>大井憲太郎、<sup>21</sup>景山(福田)英子ら逮捕(→近代12)  
 〔朝鮮で親日派政権を樹立し、清との対立をおおって日本人のナショナリズムを刺激し、  
 国内の民権運動を再起しようと計画(爆弾製造など) →実行前に大阪で逮捕〕

☆ <sup>24</sup>福沢諭吉らはアジア改造論から<sup>22</sup>\_\_\_\_\_ (「<sup>23</sup>脱亜入欧」1885)へ) [資料14]  
 ……アジアとの連帯を放棄し欧米列強側に立つべきと主張

☆ 朝鮮の対日感情悪化…日本の対朝鮮経済進出

<例><sup>25</sup>\_\_\_\_\_ 事件[1889~93]…朝鮮が凶作を理由に穀類輸出を禁止した(防穀令)ことに対して  
 日本政府は、日本の貿易商が打撃を受けたとして賠償などを要求。



**作業** 図表ページを見て、右図に遼東半島・台湾・澎湖諸島を書き入れなさい。

## 日清戦争と三国干渉

26 1894. 27 \_\_\_\_\_ 戦争 (28 \_\_\_\_\_ の乱) ※29 東学は新興の民衆宗教 (⇔ 西学(キリスト教))

指導者 30 全瑛準 (ゼンホウジュン) 反封建制・反侵略 (「31 斥倭洋」) 朝鮮政府に改革を要求

→ 朝鮮の要請で清が出兵 → 清は天津条約に基づいて日本へ通告 → 日本も出兵 → 農民軍は和平し解散

→ 日本軍は撤兵を拒否して朝鮮の内政改革を要求して王宮を軍事占拠、大院君を擁立(7/23)

→ 清軍へ攻撃開始(32 豊島沖海戦 7/25) → 宣戦布告(8/1) → 平壤の陸戦(9/15) → 33 黄海海戦 (9/17)

→ 遼東半島の旅順・大連を占領(11月) → 山東半島も占領(1895年2月) など日本軍優位

☆ 戦費は 34 約2億円 (当時の財政規模の3倍)

☆ 議会は政府批判を中止(35 大本営は広島) 高揚するナショナリズム

36 1895. 37 \_\_\_\_\_ (38 日清講和条約) [資料156]

全権 [日本] 39 伊藤博文 首相・40 陸奥宗光 外相 [清] 41 \_\_\_\_\_

… (a) 42 清は朝鮮の独立を承認 (「清国ハ朝鮮国ノ完全無欠ナル独立自主ノ国タルコトヲ確認ス。」)

(b) 43 \_\_\_\_\_ ・ 44 \_\_\_\_\_ ・ 45 澎湖諸島 を日本へ割譲

(c) 賠償金 46 2億両 (約3.1億円) → 47 金本位制 の確立などへ活用

(d) 48 沙市・重慶・蘇州・杭州 の開港 → 49 日清通商航海条約 (不平等条約)

☆ 50 \_\_\_\_\_ を刺激 → 51 フランス・ドイツ と共に 52 遼東半島 の返還を勧告… 53 \_\_\_\_\_ (54 1895)

→ 承諾… 「55 臥薪嘗胆」 の機運 ※ 3000万両の還付代償金

☆ 台湾統治問題

56 台湾民主国 の樹立 → 反対する清国民ら → 日本軍が制圧 → 57 \_\_\_\_\_ の設置

その後も、先住民の 59 高砂(高山)族 らの抵抗 … 初代総督 58 樺山資紀

1897. 軍政から民政へ… 総督 児玉源太郎、民政局長 60 後藤新平 米・砂糖・樟脳などの産業育成

☆ 戦後の朝鮮… 親日派の大院君の勢力拡大 → 閔妃ら、ロシアの協力でクーデター(1895)

1895. 61 閔妃殺害事件 (1895)… 62 三浦梧楼 日本公使ら → 以後、高宗はロシアへ接近

… 1897. 63 \_\_\_\_\_ と改称 高宗は皇帝に

【時代順問題に挑戦】 <2001年B本試験より>

- |  |
|--|
| I 伊藤博文と李鴻章との間で天津条約が結ばれ、日清両軍の朝鮮からの撤兵などが定められた。           |
| II 日本は江華島事件を機に朝鮮との間で日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。                |
| III 朝鮮で国王の父大院君が閔氏一族から政権を奪おうとし反乱を起こしたが、清の出兵によって失敗に終わった。 |